

若者と林業で創る 資源循環型DIY

—おおい町 Circular DIY Project—

チーム紹介



龍谷大学 政策学部 政策学科
阿部大輔ゼミナール 4回生

池田七星 石黒壮真 江口拓朗 久保田夏樹 塩崎寧々
竹内映人 寺村美潮 松本安弘 三谷伊緒里 森田蒼 山本萌未

阿部ゼミは都市空間デザイン・都市計画を専門に研究しています。まちの課題や資源をリサーチし集めたデータを可視化した上で、そのまちに適した都市デザインやまちづくりの提案をしてきました。

「都市のおもしろさは空間に宿る」をモットーに、おおい町の魅力と課題を見出して活かす提案で、若者が集うおもしろいまちづくりに貢献します。

提案の要約

プロジェクトの概要

旧丹後街道を中心に空き家を改修、滞在型DIY工房施設を整備することで若者を呼び込み、おおい町の林業による地域資源循環を創造する

実施体制

- ・ 阿部ゼミは基本的に広報・提案を行う
- ・ 協力団体（想定）
 - ・ 農林水産課、建設課、まちづくり課
 - ・ リライトおおい株式会社（空き家の保有・管理）
 - ・ おおい町商工会、地元建設業者
 - ・ れいなん森林組合
 - ・ 福井県内や関西圏の建築・芸術系の学生

提案の要約

課題

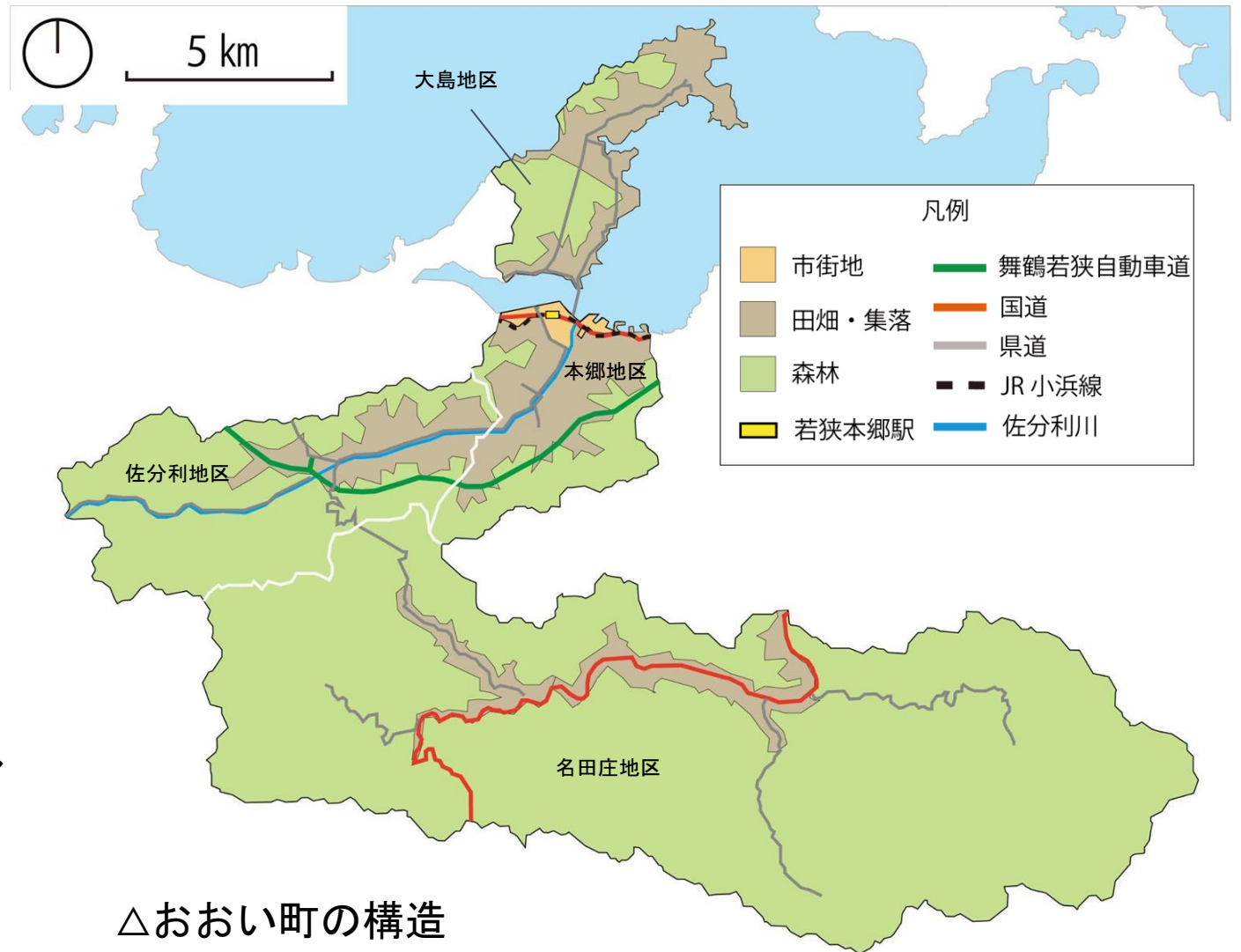
- 宿泊施設が不足している
- 林業が衰退している
- 地域の資源や景観を活かせていない

ニーズ

- コロナ禍をきっかけにDIYに注目が集まっている
- 大学生を含む20代でDIYの需要は高まっている

現状①：おおい町の構造

- ・おおい町北部（大島地区）は、若狭湾国定公園に指定されており、**漁業が盛んな地域**である
- ・おおい町中部（本郷・佐分利地区）は、JR若狭本郷駅や主要幹線道路があり、行政施設や観光・スポーツ施設が集積する**おおい町の中心地**である
また、佐分利川沿いに形成された平地には水田地帯が広がる
- ・おおい町南部（名田庄地区）は、総面積の約96%を**山林**が占めており、国道沿いにわずかな平地と集落が存在する



現状②：おおい町の人口動態

おおい町の人口(国勢調査より)

人口総数(2020年)

7,910人

2010年 8,580人から **670人減少**
(増減率**-7.81%**)

人口構成(2020年)

幼年人口 1088人(13.8%)

生産年齢人口 4241人(53.8%)

高齢人口 2548人(32.3%)

2010年と比べて

幼年:-4.1% 生産:-13.3% 高齢:8.3%

流入・流出人口(2020年)

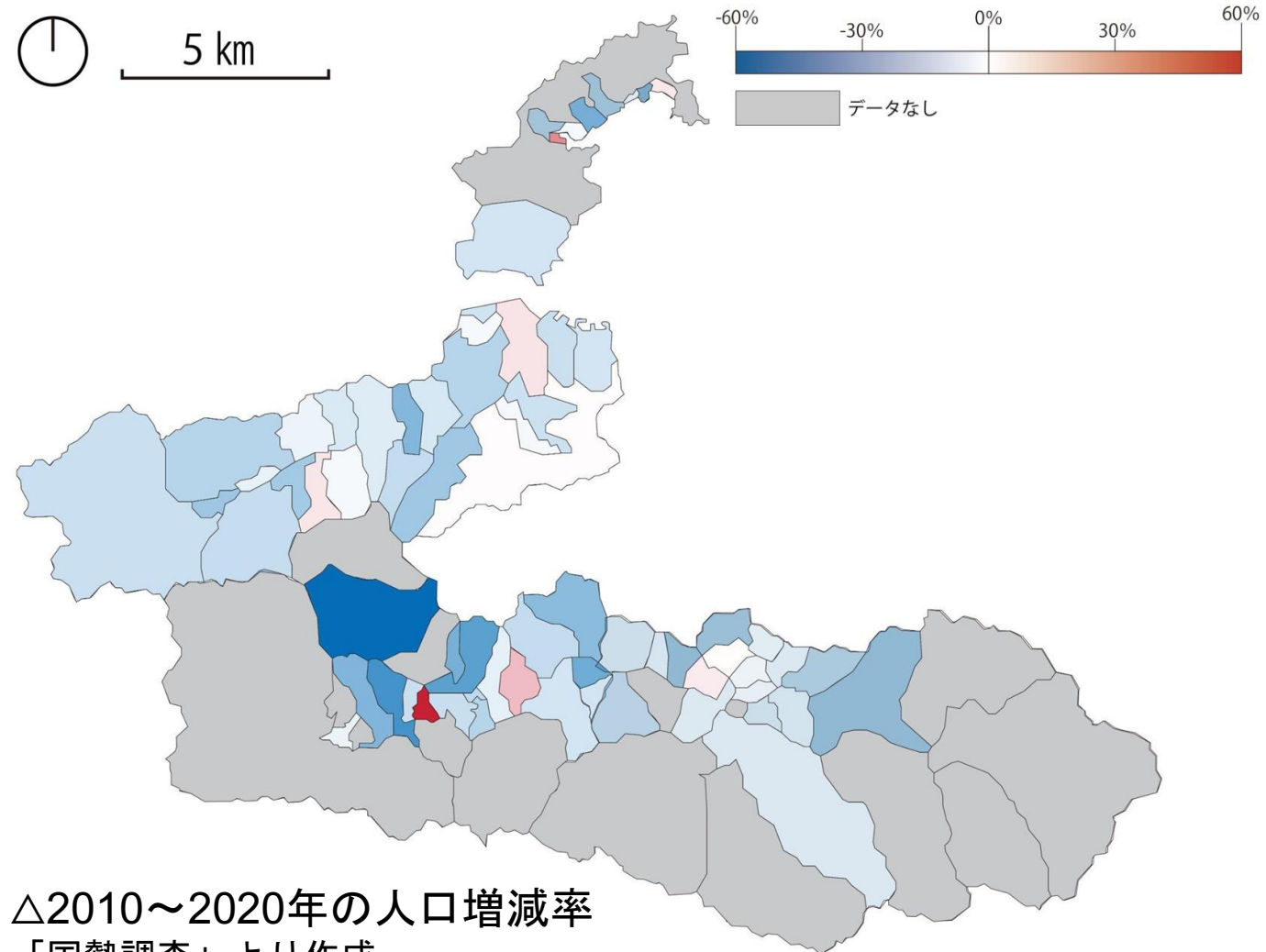
流入人口 2100人

流出人口 1778人

+322人



5 km



人口増減に地域内で差がある

現状③：おおい町の若者人口

若者人口（2020年）

※若者人口：15～24歳

人口総数：566人

うち

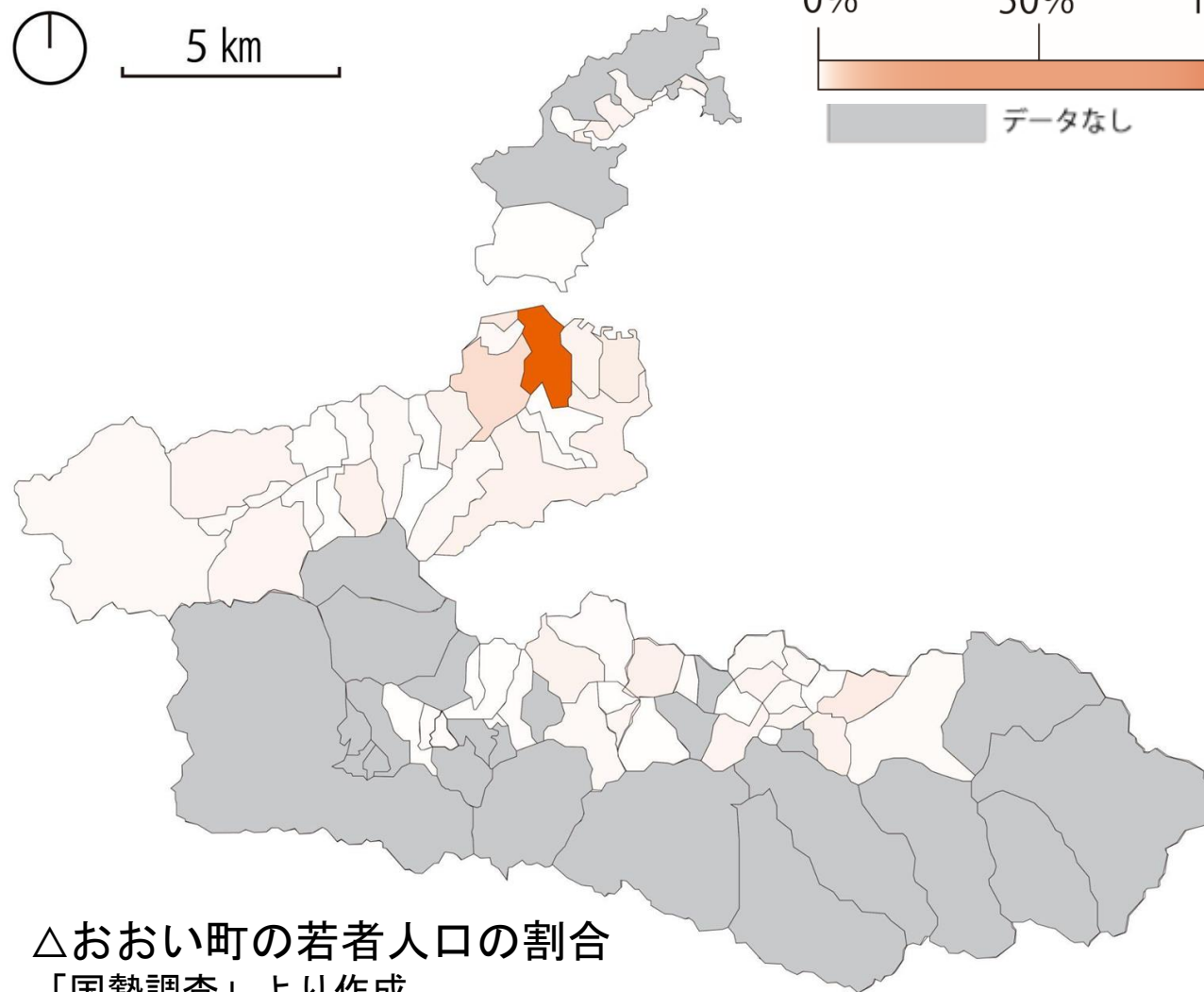
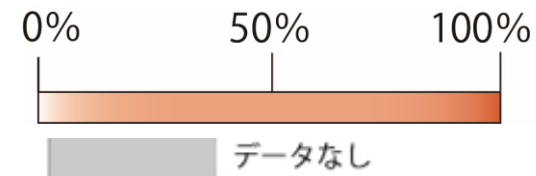
15～19歳：312人

20～24歳：254人

本郷地区の若者人口が最も多く、若者の約30%が集中している（174人）



5 km



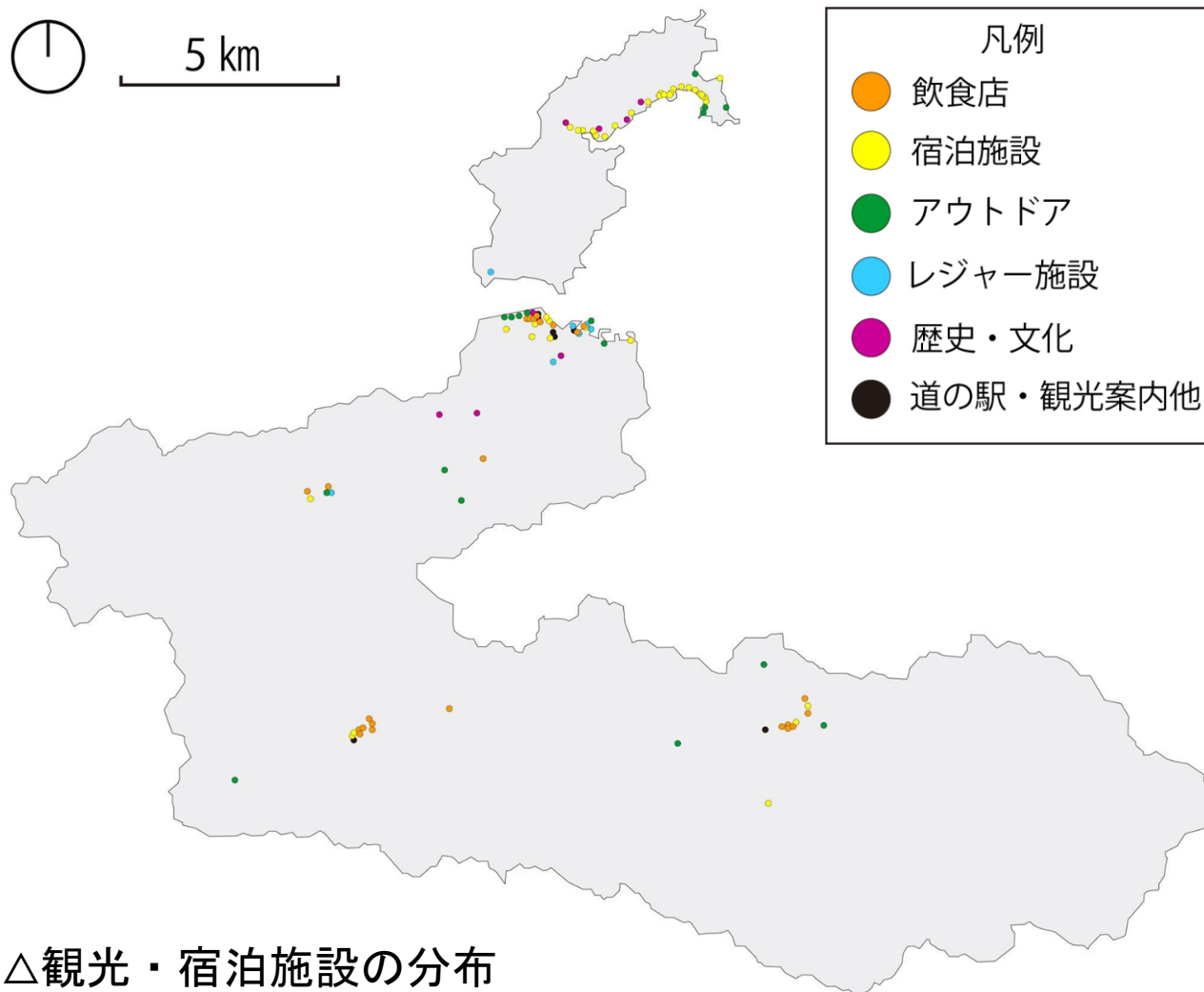
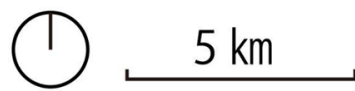
△おおい町の若者人口の割合
「国勢調査」より作成

若者がおおい町の中心市街地に集中している

現状④：観光・宿泊施設

主な観光・宿泊施設

赤礁崎オートキャンプ場
八ヶ峰家族旅行村
道の駅 うみんぴあ大飯
道の駅 名田庄
おおい町きのこの森
ホテルうみんぴあ
ホテル流星館
あみーシャン大飯
福井県こども家族館
長井浜海水浴場
おおい町総合運動公園
「プレーパーク大飯」
暦会館
エルガイアおおい 等



△観光・宿泊施設の分布

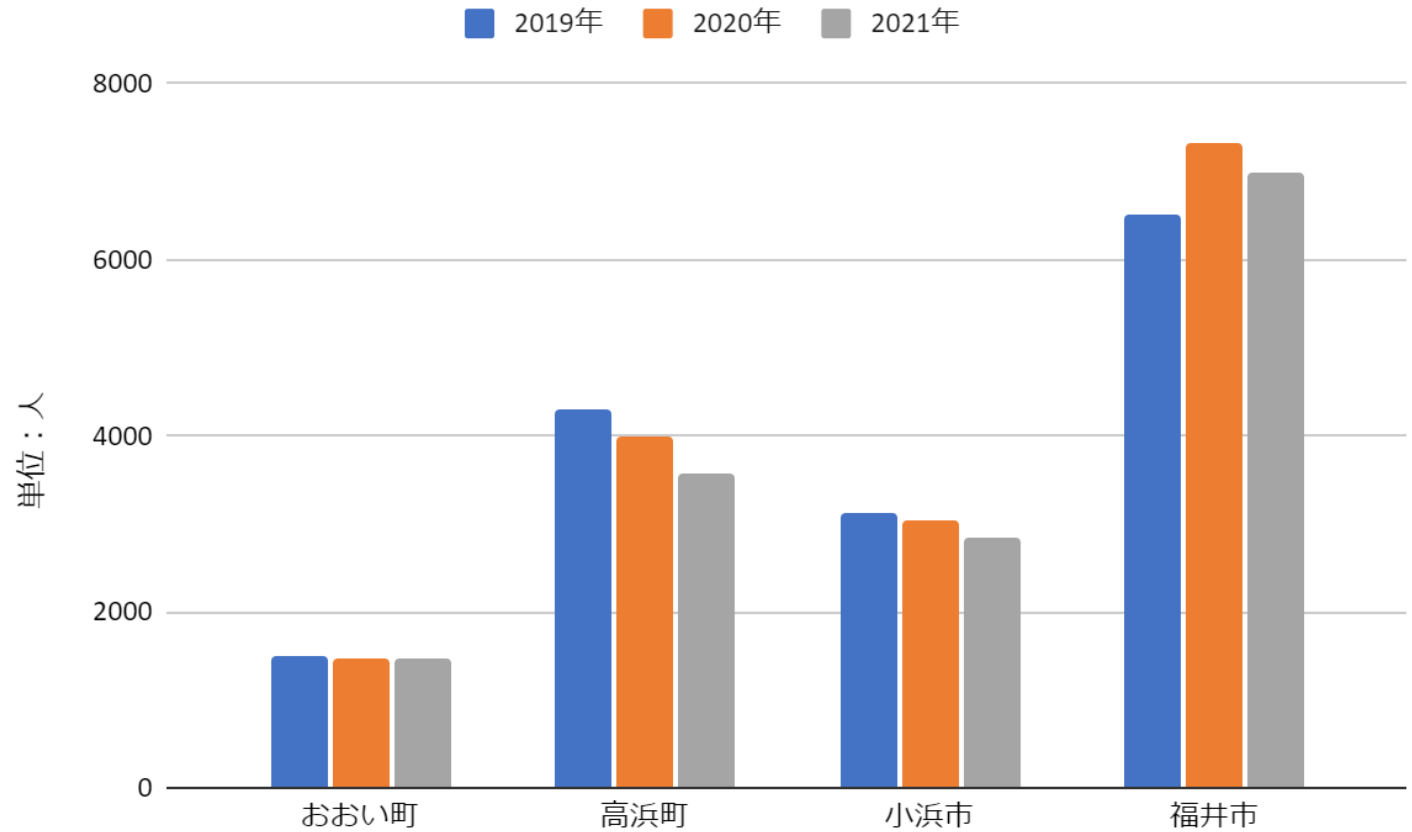
「おおい町観光情報サイト おおいにござんせ」より作成

観光・宿泊施設が沿岸部に集中している

課題①：宿泊施設の不足

おおい町の宿泊の課題

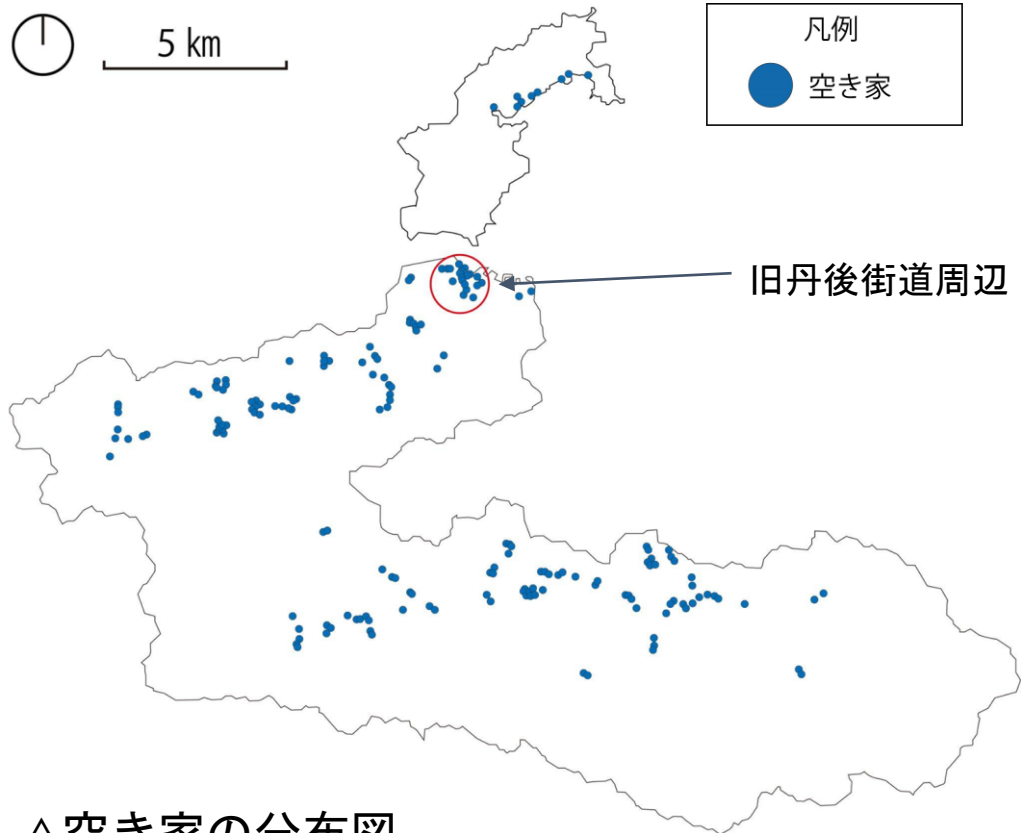
- ・ 若者がおおい町に来る場所(キャンプ場や合宿場)はあるが、それ以外で若者をまちに呼び込むきっかけが少ない
- ・ 日帰り観光客が多く、宿泊客が高浜町に流れている
- ・ ある時期になると施設関係者が宿泊施設を利用し、一般の観光客が宿泊場所に苦労する



△おおい町と各自治体の宿泊施設の収容人数 2019年～2021年の推移
「福井県観光客入込数(推計)」より作成

他の地域と比べて宿泊可能人数が少ない

課題②：地域資源の悪化



△空き家の分布図

「おい町空家等対策計画」より作成

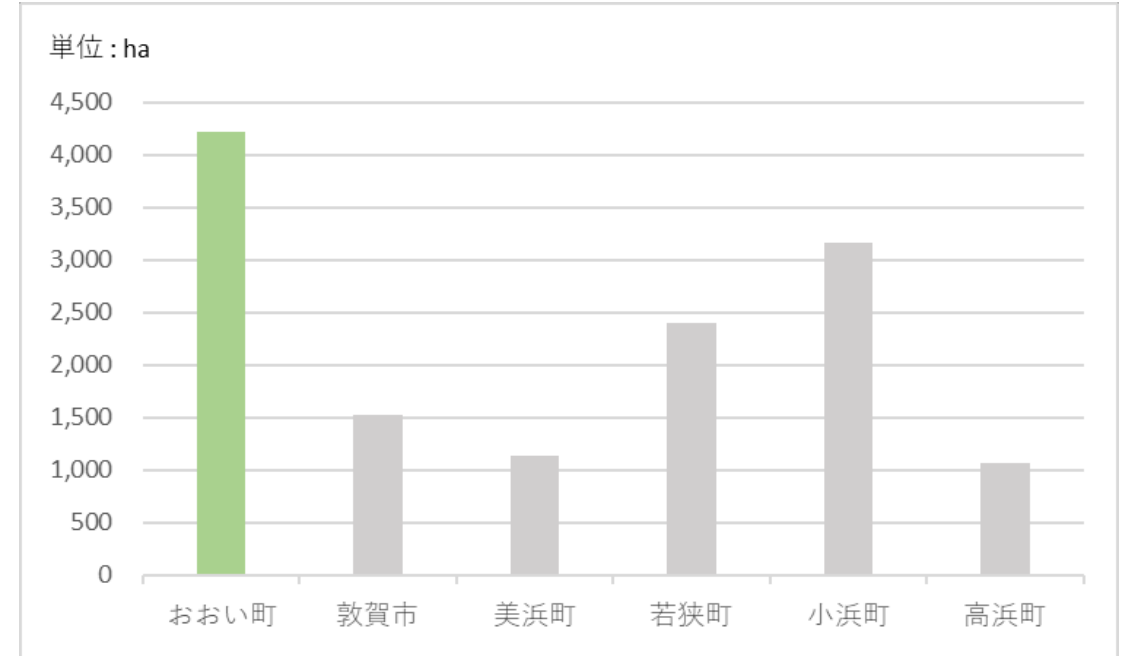
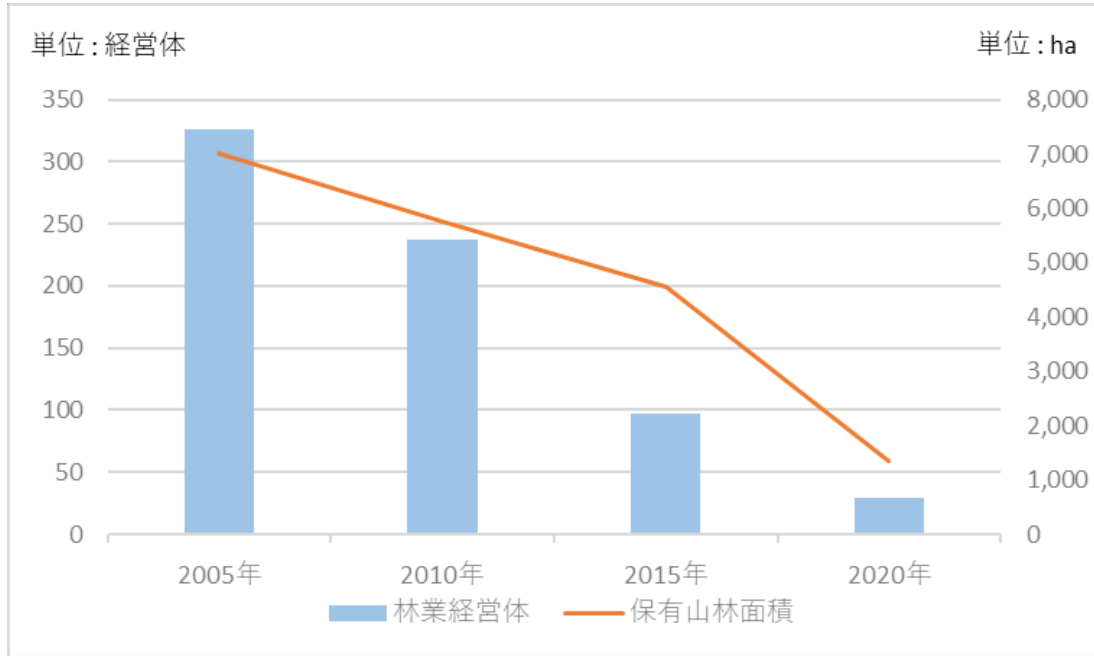


△旧丹後街道

「<https://konomichiikeba-rin0696.amebaownd.com/posts/5908236/>」より引用

旧丹後街道周辺に空き家が分布しており、
旧街道の景観の悪化が懸念される

課題③：林業の衰退



△おい町の林業の推移

※2005年は旧大飯町と旧名田庄村の合計
「農林業センサス」より作成

△間伐面積（2021）

「若狭地域森林計画変更計画書」より作成

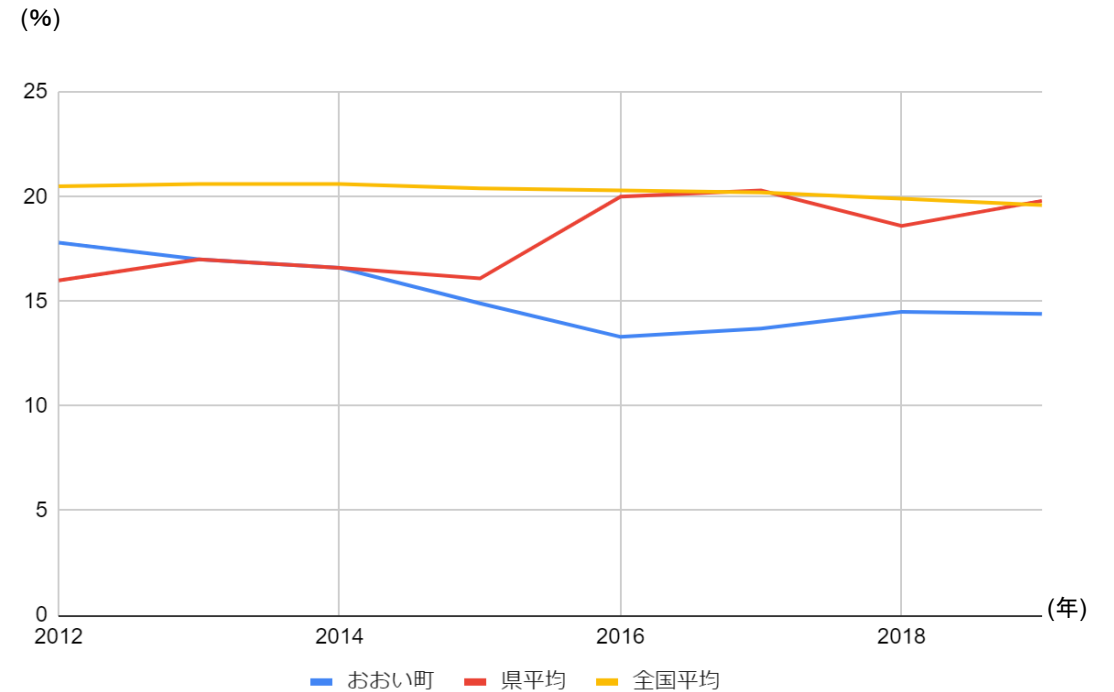
林業の担い手不足等により、放置森林の増加が懸念される

課題④：資源循環への意識の低下

循環型社会への課題

- ・ ゴミ減量化の取組継続に対して「ゴミをつくらない・発生させない意識啓発」の必要性
- ・ リサイクル率の向上に対して「継続的にゴミ分別の意識啓発を行う」必要性

「第2次おおい町環境基本計画」より引用



△リサイクル率の比較

「一般廃棄物(ゴミ)の排出および処理状況」より作成

リサイクル率が平均より低く、
循環型社会への課題が残る

ポテンシャル

- ・ 豊富な森林資源がある
- ・ 間伐が積極的に取り組まれている（嶺南地域）
- ・ 旧丹後街道には昔ながらの景観が残っている

課題

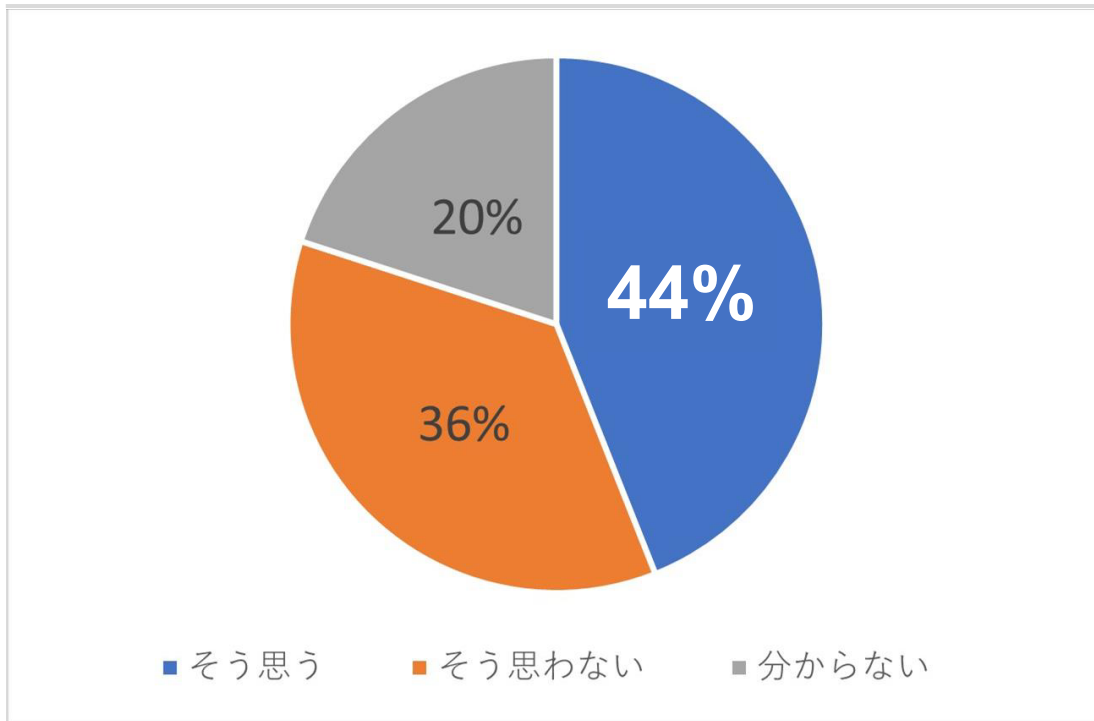
- ・ 他の地域と比べて宿泊可能人数が少ない
- ・ 旧丹後街道周辺に空き家が分布しており、旧街道の景観の悪化が懸念される
 - ・ 林業の担い手不足等により、放置森林の増加が懸念される
- ・ 循環型社会への課題

地域資源を再評価し、
若者の「新たな滞在の仕方」を創造する

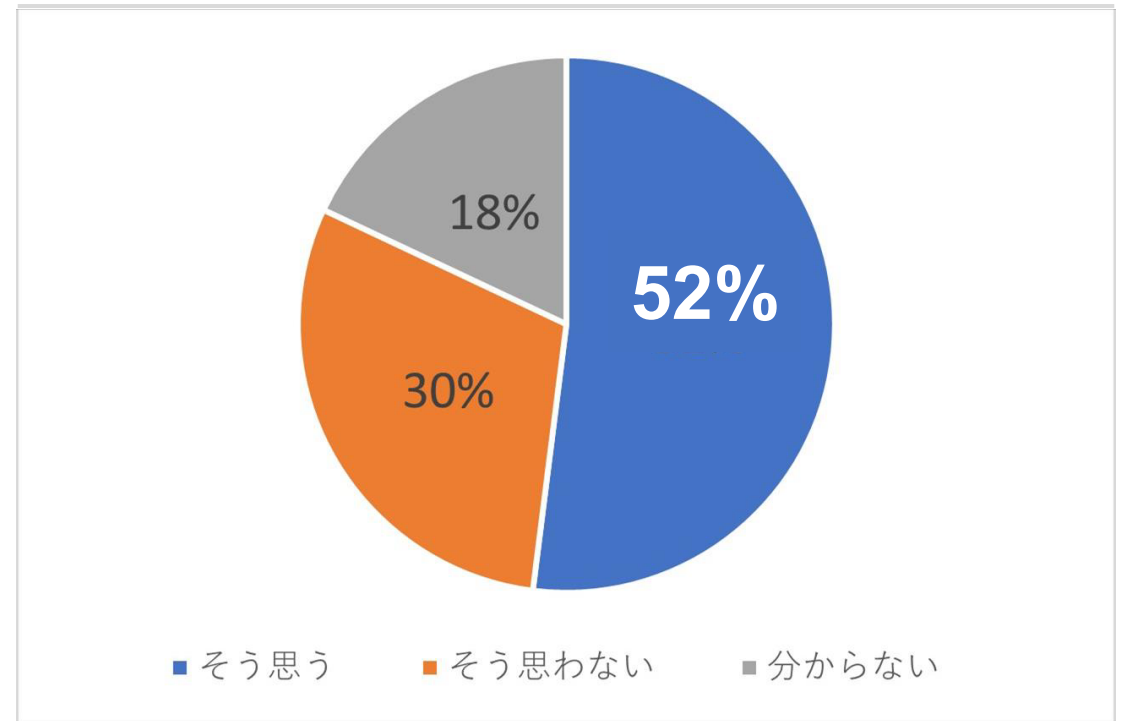
若者のDIY需要

調査対象：兵庫県・大阪府・京都府の20代男女400人

質問内容：「DIYをしてみたいか？」



△20代男性のDIY需要の割合
「公報いばらき 平成30年1月号」より作成



△20代女性のDIY需要の割合
「公報いばらき 平成30年1月号」より作成

DIYをやってみたい若者が多くいる

DIYまちづくりの事例

やまがたの木のある暮らし・街づくり 促進事業

木工事業者やデザイナー、大学生等を対象に県産木材を活用した県産木工品プロダクトコンペを実施した

→県産木製品を通じて、県産木材の良さや温もりを体感する機会を創出し、木工製品の品質やデザイン性の向上につながった



△県産木工品プロダクトコンペの受賞作品

「H27やまがた緑環境税活用事業取組状況」より引用

美山木匠塾

建築学生の作品作りに美山町のスギ材を使用することで地域経済の活性化、環境保護へとつなげた

→将来の日本の建築を担う学生が、木材利用による環境保全・現在の森林の状況等を学ぶことができる場を設けている



△美山木匠塾DIY活動の様子

「美山木匠塾のfacebook」より引用

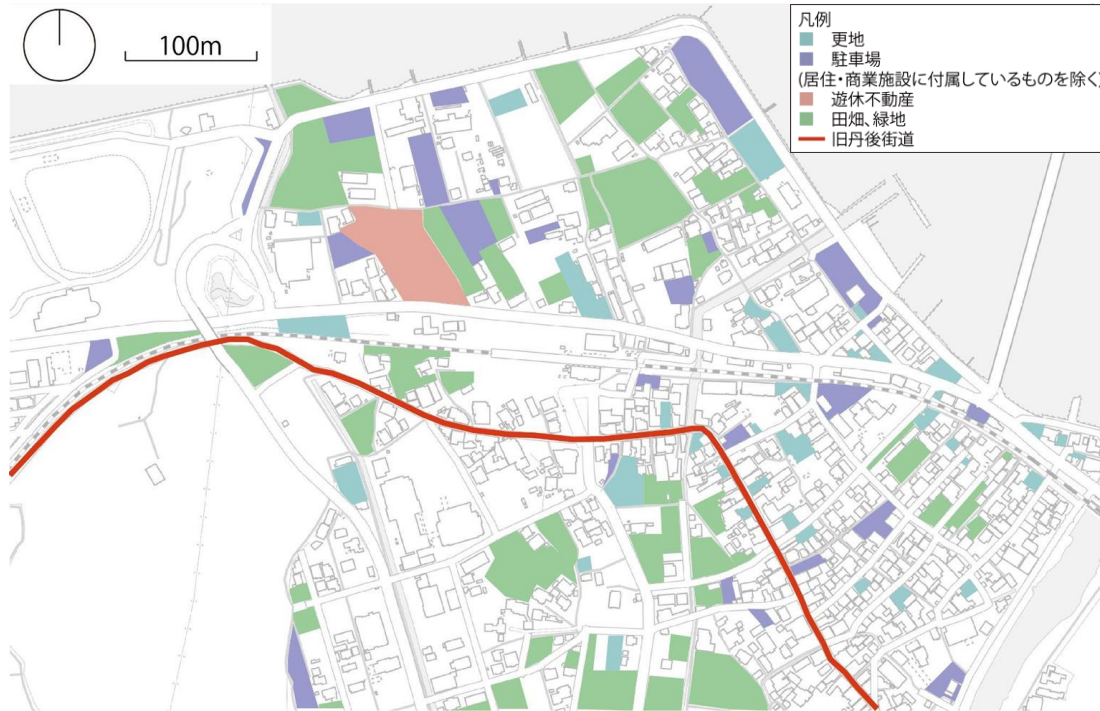
提案 1 : DIYレジデンス (滞在型DIY) の導入

- ・ 廃材や間伐材をDIYの材料として若者(大学・高校)に提供する
- ・ 建設業で働いていたシニアが講師となり、経験を次世代へつなぐ
- ・ DIYで制作したものは販売することができ、収益の20%を森林整備に充てる
- ・ 関西圏や福井県の建築系や芸術系の学生を対象にDIYコンテストを開催する
- ・ DIYによりおおい町の滞在期間が長くなるにつれ宿泊費割引のインセンティブを付与する

おおいさんの滞在記録 (3 日間の場合)



提案 2 : 街道の空間設備とその利用方法



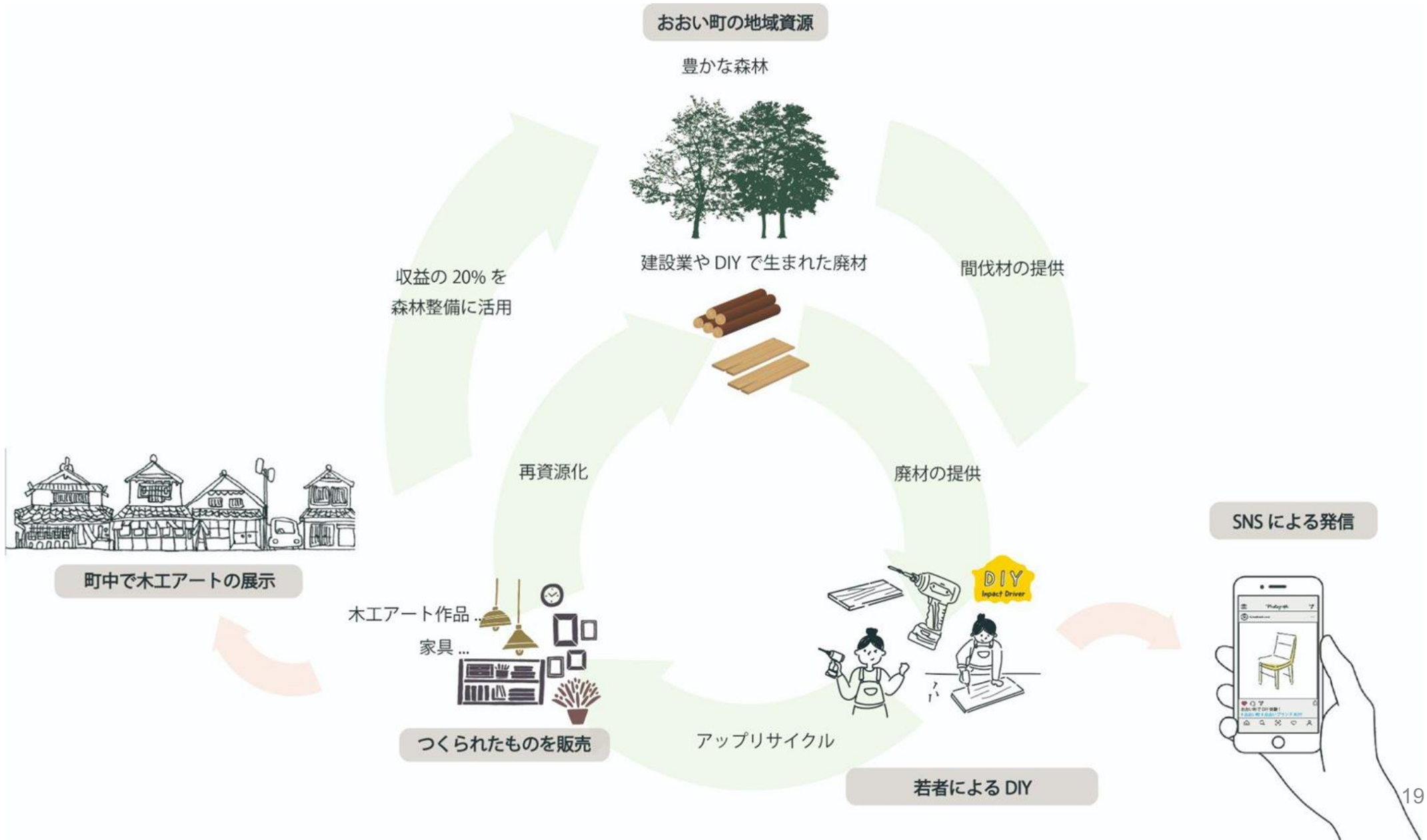
△駅周辺のオープンスペース



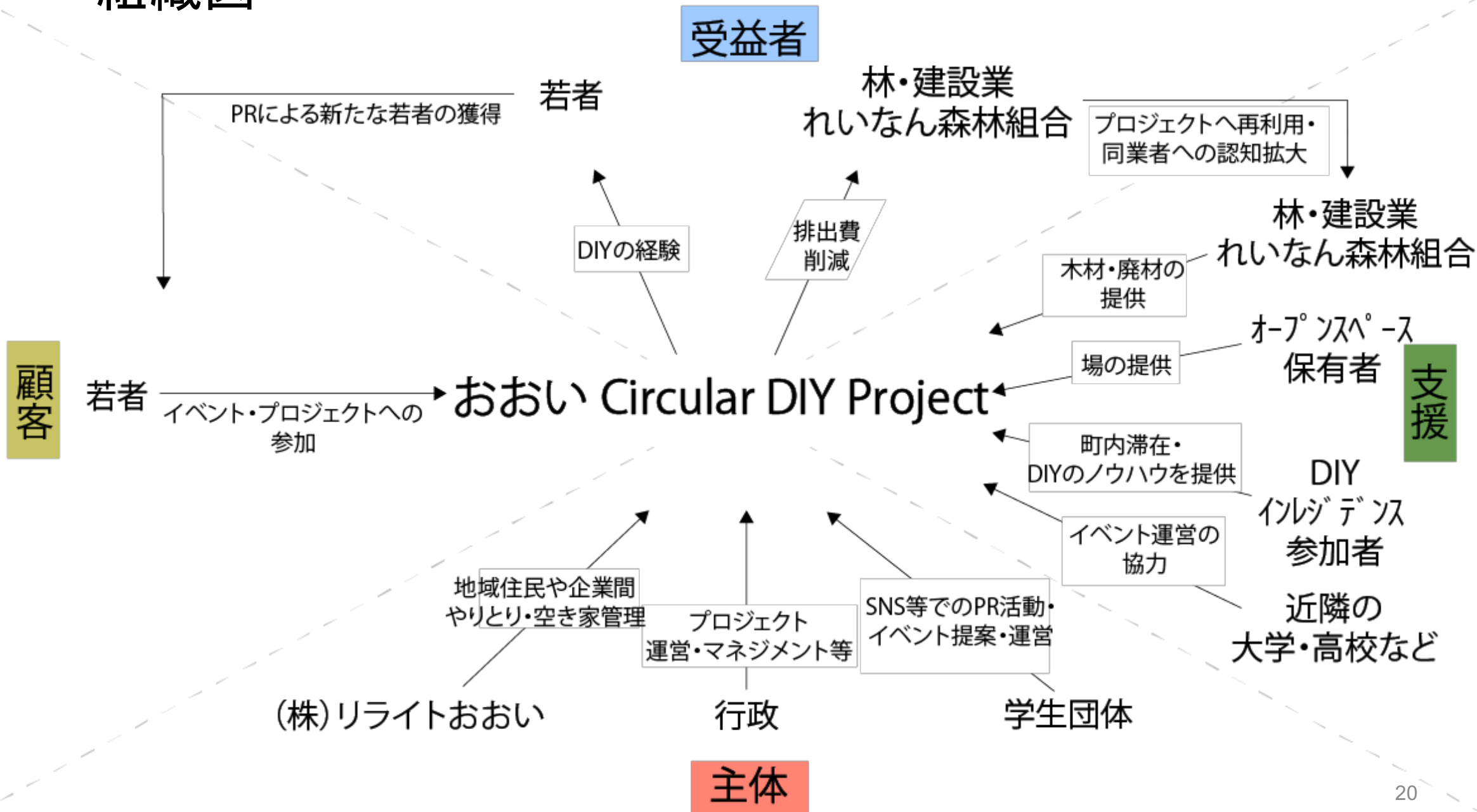
△提案適応後の旧丹後街道

- ・ 空き家を宿泊兼工房施設として活用する
- ・ 点在しているオープンスペースにDIY作品を展示する
- ・ オープンスペースを軸に街道を再生・活性化する

提案のまとめ：おおい町の資源循環モデル



組織図



2023年度予算概要（DIYコンテスト）

・ 予算は、おおい Circular DIY Projectの初年度に実施するDIYコンテストを想定し、算出

・ 24年度以降から、プロジェクト参加学生の協力のもと、おおい町の空き家を改修することにより、滞在型工房を整備する

内訳	推定費用	備考
滞在補助費（1人当たり4万円補助）	20万円	参加者は5名を想定
工具レンタル代	15万円	電動工具（1人当たり3万円）
木材購入費	10万円	木材価格によって変動する可能性あり
人件費	10万円	
施設レンタル料金	15万円	プレーパークおおいの体育館を想定
合計	70万円	

実施スケジュール

	2023 年度 ●プロジェクト開始	2024 年度 ●DIY インレジデンスの実施	2025 年度 ●まちへの波及	2026 年度 ●若者・地域へプロジェクト普及	2027 年度 ●地域に根付いたプロジェクトへ
空間の整備・ 仕組みの導入	材料の調達 廃材と間伐材の提供 人材の調達 DIY を教える人 おおい町 DIY コンテスト 開催	DIY インレジデンスの実施 イベントの開催 @オープンスペース 空き家・オープンスペースの 整備	オープンスペース・街道に作品 を設置 空き家の整備の拡大		
若者の動き		DIY イベントへの参加 おおい町で生活しながら DIY をする	新たな若者がおおい町に やってくる 街道やオープンスペースに作成 した作品を展示		
地域への影響		イベント実施によるおおい町 に新たな関係人口が増える	廃材等による DIY がおおい町 の若者の観光・滞在コンテン ツになる		おおい町のポテンシャルと課 題に根ざした新たな循環が生 まれる

ABE SEMINAR
